

広報

のほろほ

主な内容

- 特集・国民健康保険……2・3P
- 治安の確保、一層強まる 交通機動隊も併置……3P
- こんなとき、あんなとき ご利用ください相談窓口……4・5P
- 12月9日は「障害者の日」やさしさを行動に……7P

● No. 361 ● 昭和57年12月1日発行 ● 発行/北海道登別市 ● 編集/総務部企画広報課 ● 印刷/北海印刷



11月18日、労働福祉センターでの歯科検診から。

ちよっぴり緊張

新入学児童の健康診断

来年4月、市内の小学校に入学する幼児を対象に、11月10日から市内4カ所で歯科、視力、聴力の健康診断が行なわれました。

お母さんたちに、手を引かれながら子どもたちもちよっぴり緊張気味。「大きく口を開けて」「毎日歯をみがいていますか」「好ききらいはしていませんね」という先生の言葉に、ためらいながらも元気よくこたえていました。

来春、新入学を迎えるのは札内小学校の1人から、最も多い幌別西小学校の168人まで、11月1日現在853人となっています。

学校という社会へ第1歩をふみ出す日も、そう遠いことではありません。明るく元気な新1年生としてスタートを切るため、健康には自信をもって通学できるようにしておきたいものです。

12.1 '82

特集

国民健康保険

医療費は全道平均を上回り、国保税は全道18位

病気をしたとき、軽い負担で安心して医療を受けられる。これは私たちの切実な願いです。国民健康保険（以下「国保」といいます）は、この願いを込めて、すべての人が何らかの健康保険に入れるようにできている健康保険制度のひとつです。しかしこの国保の会計は、受診率の上昇や医療費の増加によって年々苦しくなっています。今回は厳しい環境にある本市の国保事業について、皆さんのご理解とご協力をいたいただくため特集してお知らせします。

国保ってどんな制度？

勤め先の健康保険に加入している人や生活保護を受けている人以外は、みんな国保に加入しなければなりません。

国保に加入している皆さんが病気やけがをして病院にかかった場合、費用の二割を皆さんが負担し、あとの七割は国保が支払います。また、病気やけがが重くて入院したり、治療が長引いたりしたときなどで、皆さんの負担額が一月四万五千円を超えた場合は、後から超えた分を国保が負担します。

このことからおわかりのように、国保は、皆さんが治療を受けたときに経済的な負担をできるだけ軽くしようとする制度です。

本市の場合、国保加入者は、九月末現在で五千五百五世帯、一万三千二百六十一人となっており、全世帯の二十九割が加入しています。

国保会計はどのようなもの？

国保会計は、法律で定められた独立採算制の特別会計です。

図(1)をご覧ください。医療費の負担割合は、総医療費の三割が皆さんが病院などの窓口で支払う一部負担金で、残り七割を国保会計がまかなっています。このうち四・五割が国の負担で、二・五割が皆さんがそれぞれの所得などに応じて納める国保税となっています。したがって医療費が増大すれば、当然その二・五割を受け持つ皆さん

の負担も増えることとなります。市では皆さんの税負担をできるだけ軽くするため一般会計から繰入れしていますが、この額は、昭和五十四年度から昭和五十六年度の三カ年で、一億七千三百万円にものぼっています。しかし一般会計では市民生活にかかせない、生活環境の整備や教育費、衛生費などといったものに多額のお金を必要とします。従って一般会計からの繰入れは無制限とはいかず限度がありますので、やむを得ず最少限の保険税の値上げをお願いしなければならぬことになるわけです。それでは、当市の国保の現状

表(1)

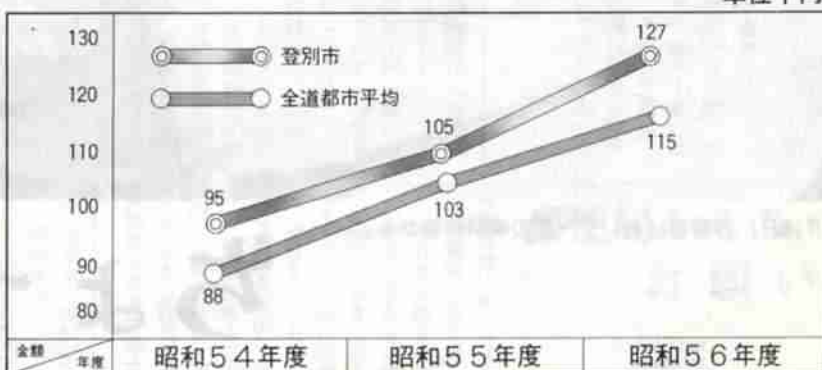
決算状況

年度	歳出 千円	歳入			一般会計繰入全 千円	不足額 千円
		国保税 千円	国・道補助金 千円	その他の収入 千円		
54	1,309	348	828	10	96	27
55	1,488	474	935	5	33	41
56	1,771	526	1,118	8	44	75

表(2)

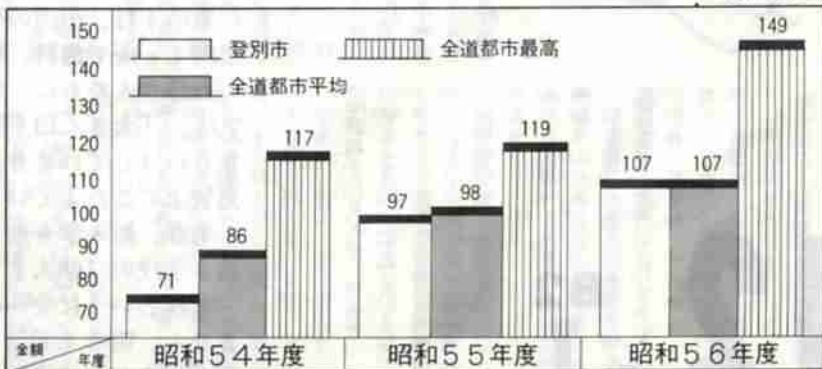
医療費(1人当り)

単位千円



国保税(1世帯当り)

単位千円



図(1)



医療節約7カ条

- 一、安易に医者にかかるのはさげよう。
- 二、深夜、休日、時間外受診、住診はさげよう。
- 三、治療より予防につとめよう。
- 四、栄養、運動、休養の健康三原則を守ろう。
- 五、早期発見、早期治療を心がけよう。
- 六、健康診断を積極的に受けよう。
- 七、医療費に関心を持ち、工夫しよう。

治安の確保一層強まる 交通機動隊も併置



桜木町に建設が進められてい、請してきましたが、今回の新築移した登別警察官派出所がこのほど、転にもない交通機動隊登別分駐完成、十二月一日から新庁舎で、所も併置されるなど、警察官の業務がスタートしました。

市では、治安の確保のため、これまで警察官の増員などを要

別町二丁目目配置されていた同派出所は、老朽化が著しく、また手狭になってきたため、北海道警察本部によって新築移転が行われたもので、建設場所は桜木町一丁目二十番地六、日本道路公園登別工事事務所の隣りです。

完成した庁舎は、補強コンクリートブロック造り平屋建て二百二十二平方メートルで、車庫を併設し、総工費は三千八百十万円となっています。

また、同派出所には、交通機動隊の併置とともに、警察官の増員が行なわれ、これまで七名の体制から、一挙に三倍強の人員配置となり、市内の犯罪や事故の未然防止が一段と充実されることになりました。

市内の警察機構は、室蘭警察署管轄として、登別警察官派出所をはじめ、鷺別、登別温泉警察官派出所、登別東、登別西警察官駐在所の三派出所、二駐在所によって市内の治安維持にあ

況はどうなっているのでしょうか。昭和五十六年度の決算を例にとつてみますと、病院などに支払った医療費や葬祭費などの歳出合計が十七億七千万円です。これに対する収入は、国の補助金が十一億八千万円、皆さんの納めた国保税が五億二千六百万円、その他の収入が八百万円を合計十六億五千二百万円となっています。従って、差し引き一億九千万円の不足となり、表(1)のとおり一般会計から四千四百万を繰入れしていますので、実際の不足額は七千五百万円となっています。

全道の都市と 比べると

ここで、当市の国保の医療費と国保税を、全道都市平均と比較しながらみてみましょう。

表(2)をご覧ください。当市の医療費は、昭和五十四年度では一人当り九万五千円(保険者負担)、昭和五十六年度決算では十二万七千円となっています。

これを全道都市三十二市の平均で見ますと、昭和五十四年度で八万八千円、昭和五十六年度決算では十一万五千円となっており、各年度とも一人当りの医療費が、全道都市平均を大きく上回っていることがよくわかります。

国保の運営が、伸び続けた医療費によって年々苦しくなっていることは、当市に限らず全国、全道的な傾向であることが実情なので



医療費は どうしてふえる

国保会計が苦しくなる主な原因が、医療費の増大にあることは、おわかりいただけたと思います。それではなぜ医療費が増えるのでしょうか。

ひとつには、人口構成の中で、お年寄りの占める割合が急速にふえていること。お年寄りはむずかしい病気をいろいろ抱えているので

国民健康保険加



国保財政の 健全化にご協力を

市では、国保財政を健全化するため、昭和五十五年から昭和五十九年までの五か年間で、赤字を解消しようと財政再建計画を立てて行っています。

今後、国などに対して財政援助の強化、拡充を訴えたり、できる限り無駄な費用がかからない運営に努めていきます。

国保に加入している皆さんも、医療費を少しでも節約するように心掛けるなど、国保財政健全化に一層のご協力をお願いします。

ご利用ください相談窓口



相談はお気軽に市民相談室。

皆さんは、何か困ったことが起きたときや、疑問点を解決したい場合など、どうしているでしょうか。

皆さんが生活を営んでいく中で、だれかに相談したいことは以外に多いもの。ひとりで悩み考えても解消できないこと、知人や友人をどうも相談しにくいこと、その内容も様々です。市では、皆さんのこうした相談に幅広く応じられるように、専門知識を駆使して各種の相談窓口を開設しています。

今号では、国や道から委嘱されている相談員など、主な相談窓口を特集してお知らせします。

行政や法律、人権問題は

人権相談

行政相談

役所や公社、公団などが行っている仕事について、皆さんの苦情や要望を受けています。たとえば、私たちの生活の中で恩給や年金、国税、郵便、道路、河川、生活保護などについての苦情などは、行政管理庁から委嘱さ

れた行政相談委員にご相談ください。当市の相談委員は次のかたで、直接口頭でも、簡単なものは手紙電話でも結構です。

●行政相談委員 長内 弘さん
(中央町4-1-5 ㉓97788)

家庭内、学校内での問題から、隣近所とのめんどごとや、あらゆる差別問題など、人権をめぐるトラブルで悩んでいるかたは、お気軽にご相談ください。

法務大臣から委嘱された五人の人権擁護委員が皆さんからの相談をお受けしています。もちろん相談は無料で、秘密は固く守られます。

無料法律相談

貸したお金を返してくれない、家主から明け渡しをせまられている。こうした金銭貸借問題や借家問題のほか、借地、相続、損害賠償など、法律問題でお困りのかたは、この無料法律相談をご利用ください。

毎月一回、弁護士による相談をお受けしています。

●相談日 毎月第一土曜日。日程はその都度、広報紙でお知らせし

- 人権擁護委員
- ▽河野 敏文さん 中央町1-16 ㉓52439
 - ▽藤田 隆雄さん 登別東町2-22-1 ㉓31009
 - ▽星 善さん 新生町5-20-11 ㉓8286
 - ▽赤塚 幸吾さん 常盤町3-9-4 ㉓53829
 - ▽岩井 勲さん 登別温泉町60 ㉓42145

消費生活のトラブルは

消費生活相談

クリーニングで衣類を汚された。買った物が量が不足していた。おもちゃがすぐ壊れてしまったなど、消費生活にまつわる相談窓口です。

消費生活相談室では、消費者の立場から親身になって相談をお受けしています。

相談や苦情は、直接口頭でも、電話や手紙でも結構です。お気軽にご相談ください。

●相談窓口 消費生活相談室 市

役所三階) ㉓2111内線254 ※また、毎週火・木曜日の午前10時から午後3時まで、観別生活館(幌別町3-17-4 ㉓54993)において、消費者協会でも相談をお受けしています。



歳末たすけあい運動 みんなそろって明るい正月を

12月1日~31日

「ひとの心の暖かき一歳末たすけあい」今年も恒例の「歳末たすけあい運動」が十二月一日から三十一日まで、一ヵ月間にわたって行なわれます。

この運動は赤い羽根の共同募金運動(十月、十一月)の一環として、十二月に限り毎年行なわれているもので、生活が困難な世帯や長期療養患者、ひとり暮らしの老人あるいは社会福祉利用者に対し、「みんなそろって明るいお正月をむかえられよう」というものです。

こうした善意による「たすけあい運動」の起源は、古く講義にまでさかのぼるといわれ、庶民の互助精神は脈々と今日まで受け継がれて、毎年多くの恵まれない人々に喜ばれ、効果をあげています。

この歳末たすけあい運動は、民生委員や社会福祉協議会、町内会、婦人会などを中心に行なわれる地域単位のたすけあいとNHKが放送を通じて全国に呼びかけるもの(十二月一日~二十五日)との二通りの方法で展開されます。

今年も是非、あなたの「善意のともしび」を恵まれない人々のために!



こんなとき あんなとき

福祉や生活の相談は

市民相談室

高齢者や身体障害者の就職相談をはじめ、福祉全般にわたる相談をお受けしています。



また、ここでは家庭内や親族間のいざこざなど、誰にも打ち明けられない悩みごとに、経験豊かな相談員が応じています。

民生・児童委員

嫁と姑の折り合いが悪い。身体が弱く充分働けない。生活が苦しいなど、生活の悩みごと、困ったことがありましたら、地区担当の

母子・児童相談

母子家庭などの生活面や悩みごとの相談をはじめ、児童の非行や心身障害、登校拒否、施設入所などについてお受けしています。

このほか、毎月1回（第3木曜日）室蘭児童相談所による定例相談も開設しています。

また、青少年の非行防止のために、専任指導員2人を配置した青少年指導センター（中央町5-21-12）を開設しています。

非行についての問題がありましたらご連絡ください。

福祉相談

心身に障害のあるかた、その家族のかたの相談窓口です。身体障害者手帳や療育手帳の申請をはじめ、補装具交付の手続きや施設入所などの相談をお受けしています。また、訪問相談も行ないますのでご連絡ください。

●相談窓口 福祉事務所庶務係（市役所一階）TEL 52111内線293

身体障害者相談

体の不自由なかたの福祉増進を図るために、生活、更生援護などについての相談を、次のかたが受けています。

身体障害者相談員

- ▽幌別地区 山口 三太郎さん
- 中央町7-6-5 TEL 53858
- ▽警別地区 長谷川 勝男さん
- 栄町2-9-2 TEL 5066
- ▽上警別地区 鈴木 佐市郎さん
- 美園町4-15-1 TEL 4633
- ▽登別・富浦地区 戸辺 徳行さん
- 富浦町1-45-3 TEL 31637
- ▽登別温泉地区 小館 忠治さん
- 登別温泉町1 TEL 42727

老人福祉相談

幸せな老後をすごしていただくため、お年寄りの悩みや、よろず相談をお受けしています。

●相談日/場所 月曜日、祝日の翌日を除く毎日、午前10時～午後4時/老人福祉センター（富士町7-11）TEL 81303

心配ごと相談

＜ポータル浴槽と寝具乾燥機のご利用＞
同協議会では、寝たきりのお年寄りや、重度心身障害のあるかたに、寝たまま入浴できる浴槽と、操作が簡単で持ち運びが楽な寝具乾燥機の貸し出しを行なっています。ご希望のかたは、印鑑をもって事務局へおいでください。

市政全般の苦情・ご意見・ご要望は



11月17日、旭町町内会で行われた移動市政相談。

市政全般についての苦情、ご意見、ご要望や毎日の生活の中で不便を感じていることは、公聴広報係へご連絡ください。

また、集団公聴活動として、市長が直接皆さんと接して対話を深め、市政への相談に応じ、ご要望などをお聞きする移動市政相談をはじめ、町内会長会議、市政への理解を深めていただくとう開いている市民見学会など、皆さんの声が行政に反映される「開かれた行政」に努めています。

公聴広報係 TEL 52111内線222

市政について、どんなことでも結構です。日頃皆さんが感じていること市政へのアイデアなど、お気軽にお寄せください。ご連絡は、直接口頭でも、電話や手紙でもお受けしています。

年末調整



サラリーマンにとって十二月は年末調整の月です。年末調整は、月々の給料から引かれている源泉徴収税額の合計を、年間の給与総額に対する年税額と照らし、税金の過不足を調整し精算するものです。

年末調整は、サラリーマンにとって確定申告に代わる大切な手続きであり、大部分のサラリーマンはこの年末調整によってその年の納税が完了することになります。

- 年末調整には、次に掲げる関係書類が必要ですから、年末調整に間に合うよう勤務先に提出してください。
- ①扶養控除や配偶者控除を受けられる扶養親族等に異動があった人 ↓ 「扶養控除等異動申告書」
 - ②今年中に支払った国民健康保険・国民年金の保険料などの社会保険料控除や生命保険料控除損害保険料控除などを受けようとする人 ↓ 「給与所得者の保険料控除申告書」
 - ③前年ないし前々年に確定申告により住宅取得控除の適用を受けている人 ↓ 税務署から送られた「住宅取得控除証明書」
 - ④住宅貯蓄控除を受けようとする人 ↓ 貯蓄先の金融機関発行の「住宅貯蓄証明書」



ふれあい広場



みんなでつくるページです

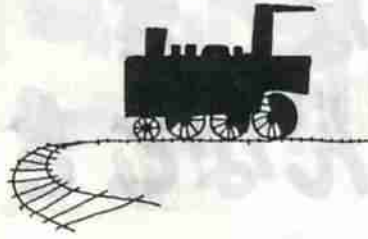
愛の芽は……まだ

市内に勤めて三年目の冬をむかえようとしています。確実に流れる時間の中で、何かを誰かのためにしたい、とこのころ思うのです。

ところが、いざしようと思っても、登別市には青年ボランティア団体なるものがありません。

助けを求めている人がいればボランティアは自然に集まってくるものです。婦人ボランティア活動はさかんなのに、なぜ青年はないのでしょうか？

それは登別市は他市町村にくらべて青年の連帯感が薄いからだと思います。みんなで集まって何かをするというよりは、いつも一匹狼、それよりもただ流れる時間に安易に身をまかせている人があま



挑戦

今、私の気持ちはルンルン気分です。この寒空になぜか？それは、泳げる様になったんです。どうかこの喜び聞いてください。季節はずれと思いでしうが、

私たちが目的があつて日々の生活を営んでいるわけですが、ややもすると社会の波にのまれてしまひ、目先だけのものを求めているのではないのでしょうか。そんな不安を感じるのには、私だけではないと思うのですが。

(中央町・学生・21歳)

私の時間

私が一日のうちで最も大切にしている時間が、二つあります。それは、朝のまだ半分しか目覚めていない自分を感じる時と、夜、寝る前のわずかな時間です。

私にとってこの時間は、日常の連続というものを冷静に見つめることのできる時であるし、また、それだけに安らぎを覚える時でもあるからです。

お待ちしています

「ふれあい広場」では、みなさまからの投稿を掲載していきます。ホットな話題や意見、提言をどしどしお寄せください。掲載分には記念品をさしあげます。

▽宛先 ハガキまたは封書で登別市役所企画広報課へ。(〒059-003 登別市中央町6丁目1番地) ※紙上では匿名としますが、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記してください。



(若山町・主婦・33歳)

郷土史探訪

74 大和町

陽天丸座礁の地「大和町」

登別市の町名で発想が不思議に思われる地名として大和町があります。

この地域は、幌別川の本流の一部が浅い湖沼などとなって国鉄室蘭線と海岸の間を南西の方向に幅広く入りこみ、丈の低い葦原と雑草に二帯が被われていた地域でしたが、昭和四十五年頃から新日鉄の鉱さいなどを投じて埋め立て、新工業地域として造成された土地です。

現在の大和町二丁目には、その昔暴風雨になると海岸線も分らなくなるほどの土地で、このよなな時、幌別側から見ると、小高い大和町二丁目までは鉄道が水の中に浮いて

いるようにも見えました。これにくらべ、二丁目は水の被害がなく、富岸川から東の方にかけては、当時大部分が牧場地帯でした。この牧場は、通称田村牧場として親しまれた場所でしたが、現在では、その面影がありません。

また、大和町二丁目の国道・国鉄沿線を富岸、鶯別町方面にかけては、鈴蘭の名所であったことが知られています。鈴蘭の咲く六月初旬には臨時列車が出て室蘭方面から鈴蘭狩りに、特に若い人達にとっては、鈴蘭のロマンチックな香りとともに思い出の多い多感な日々もあつたことでしょう。

国道は現在幌別町から大和町二丁目にかけて一直線に通じていますが、柏木町三丁目に住んでおられる宗本秋吉さん(六十四歳)や桜木町二丁目の原市太郎さん(八十一歳)に伺いますと、国道が一直線に通じたのは昭和十五、六年頃で、それまでの大和町は国鉄と海岸に挟まれた河川地域でした。幌別川を渡った対岸の海岸に近い方は一面がハマナスや野イチゴの草原で、多勢の人でもとりきれない程の真赤に熟した実が沢山あつて、手籠一杯になるのも大した時間がかからないほどでした。

海岸では昔漁場が設けられて、手広く漁業を営んでいた井上漁場があつたことや、小堀長三郎氏や関下某氏らの

漁場なども古くから経営されていたことは明治三十五年生まれ八十一歳の井上静さんから伺うことができました。また、幌別の刈田神社はもと幌別町二丁目であり、大正十一年に現在地へ移転しましたが、刈田神社の鳥居として大きなクジラの頭の骨が飾られ名物として近隣にも知られていました。井上さんのお話では、このクジラは明治四十三年、大和町二丁目の井上家の漁場附近に漂着したもので、山の如く大きいクジラに梯をかけて上り、百二十尺の巨大なクジラの処分に二年がかりの仕事であつたそうです。

その他、昔の大和町を語る話題の大きなものに陽天丸の座礁事件があります。大正八年九月、外国航路の貨物船、七千余トンという当時としては巨大な船であつた「陽天丸」が豆類その他の雑食物、生糸、陶磁器などを満載し、神戸、横浜を

出航して、サンフランシスコ、ニューヨークに向う途中、燃料用の石炭を積み込むために室蘭港に寄港しようとしていますが、青森県下北半島の尻屋岬附近から濃霧に襲われ、結局座礁してしまつたのです。

時間は真夜中の一時四十分過ぎでしたが、警笛のため警別、幌別の住民は驚き、ほとんどの住民がその場集つたもののどうするとも出来ず、室蘭や函館からの救助船が満潮の時沖へ引上げてもこの巨船はびくともしなかつたといひます。

その後、波が高くかなり救援作業の進まない中で船体が折れてしまひ、結局廃船となり解体することになったそうです。

登別市郷土文化研究会
宮武 伸一記



昭和45年頃の大和町

市民憲章

ふれあう心の合言葉

「自然を愛し力をあわせて、緑と空気を
と太陽のいっばいあるきれいなまち
をつくりましょう。」

交通安全は「ゆとりと思いやりの心」から

街全体が何となく気ぜわしくなるのが12月です。その気ぜわしさのなかで、ややもすると、わたしたちは「心のゆとり」を見失いがちです。

交通事故防止——ドライバーにとっても、歩行者にとっても大切

なのは「心のゆとり」とお互いに相手の立場を尊重する「思いやりの心」です。

年末から年始にかけての交通事故を防止するためにも「ゆとりと思いやりの心」をもって安全運転、安全走行を心掛けましょう。



年末・年始の交通事故防止

潜在看護婦講習会が
開催されます

開催されます

社団法人北海道看護センターでは、最近の医学看護に関する知識を取得していただき、潜在看護力の再稼働を促進するため、次のとおり講習会を開催します。

▽受講対象者 現在就業していない看護婦、准看護婦および現在就職して一年未満の看護婦、准看護婦。

▽講習日・場所 57年1月31日から2月5日までの6日間・北海道看護研修会館

▽講習科目 最近における薬の知識、検査の知識、看護技術など。

▽申込先 札幌市白石区本通16丁目北6番1号 北海道看護研修会館

乳児相談

▽内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導

▽日程・場所・対象地区
○12月16日(木)：警別公民館(警別地区)
○12月17日(金)：労働福祉センター(幌別地区)

▽受付時間 12時～12時15分

▽対象児 57年8月出生児

※バスタオルとオムツをご用意ください。

道外出稼ぎを
希望するかたへ

室蘭公共職業安定所では、建設業関係事務所に働いている季節労働者のかたなど、出稼ぎ就労を希望するかたを対象に次のとおり期間の道外出稼を受け付けています。また、企業ぐるみで道外に出稼ぎできる事業所については、別にご相談を受けていますのでお問い合わせください。

電気の子メーター
有効期限は7年

貸しビルやアパートなどで、電気料金を配分するための子メーターは、検定に合格したものを使用してください。検定を受けていないもの、検定を受けたものでも有効期限が切れているものは使用を禁止されています。

会館内 社団法人北海道看護センター(札幌市白石区本通16丁目北6番1号)

▽提出書類 履歴書1通

※詳しいことのお問い合わせは、社団法人北海道看護センターまたは最寄の保健所へ。また、受講後、社団法人北海道看護対策協会無料職業紹介部において就業のあっ旋も行います。

メーターの有効期限は7年間(変成器付は5年間)です。使用できる期限は、検定証が検定ラベルに表示されています。もう一度、確かめましょう。

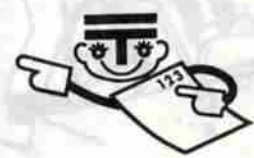
▽検定を受けるには……

いま使っている子メーターの検定を受けるには、取外し、取付け工事がともないますので、わからないことがありましたら、南北海道電気工事業協同組合(室蘭43-18285)にお問い合わせください。

国民年金
納期内の納入
にご協力を

国民年金に加入しているみなさん。保険料の納め忘れはありませんか。

郵便局からの
お願い



△年賀状は十二月二十日までに
年賀状の受け付けは、十二月十五日から始まります。年末おしせまつからでは元旦の配達に間に合わなくなる場合もあります。お早めに準備し、十二月二十日までに郵出してください。

△年賀状をお出しになるときは
あらかじめ方面別(市内、道内、道外)に東ね、方面別を記した紙をつけてお出しください。私製はがきの場合は、切手の

下に赤で「年賀」の表示を
この表示がありませんと、一般の郵便物として年内に配達されてしまうことがありますのでご注意ください。

△郵便番号は正しくハッキリと
郵便番号が書かれた郵便物は、機械をはじめ職員による手分け作業も能率的に処理することができます。

郵便番号は、赤わくの中に一字ずつ正しくはっきりとお書きください。特に、毛筆でお書きになるときはご注意ください。

△小包は十二月三十一日まで
年末の小包は、十二月三十一日まで取り扱っています。十二月二十八日までにお出したいた(速達扱い)ものは、年内にお届けいたします。小包にも郵便番号を忘れずにお書きください。

不用品ダイヤル市



5局 2111
内線 257

おわけします(売り)

ダブルベット、椅子(組立用)、食卓用子供椅子、折たたみうば車、冷凍庫、男子用自転車(22インチ) 女子用自転車(18インチ、20インチ)、ポット式石油ストーブ、温風式石油ストーブ、オートバイ(125cc)、バッテリー、あみ機、ビューティーチェアー、フィギアスケート、圧力なべ

ゆずってください(買い)

食卓テーブル、二段ベット、シングルベット、カラオケセット、コーヒーマーカ、スキー(140cm) スキー(173cm、23.5cm)、ピアノ、スパイクヤ、バイク(50-90cc)、百科事典(小学生用) 金魚鉢、室内スベリ台



国民年金の保険料を納付期限までに納めませんと、病氣やケガによって支給される障害年金や、不慮の事故でご主人を亡くし母子家庭となったときに支給される母子年金が受けられなくなります。

また、納め忘れが長期間にわたると、老後のための老令年金も受けることができなくなる場合もあります。いま一度、あなたのお手元の納付書(領収書)をお確かめください。

※詳しいことのお問い合わせは、市役所国民年金係へ。(TEL 2-1-1 内線245)

- △寄贈ありがとうございます(敬称略) ございます(敬称略)
- △社会福祉協議会(愛情銀行)
- △現金寄贈 警別婦人会 警別連合町内会 装道山田美枝きもの学院山田美枝 カトリック聖心幼稚園父母の会 奥秋艶子 ミュージックサパーキーブタウン内田商店、北上喜一郎、匿名2件
- △物品寄贈 登別市手をつなぐ親の会、カトリック聖心幼稚園父母の会、北海道配家家庭業協議会青年部日胆支部
- △古切手寄贈 本間忠一、本間貫治、山浦あい子、志賀京子
- △市立図書館
- △現金寄贈 第一滝本館